学校番号	２１３

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	新課程「高等学校数学Ｃ」　（数研出版）						
副教材等	新課程　教科書傍用　クリアー数学Ⅱ＋B＋C（数研出版） ［新版］高 1･高 2 スタンダードレベル数学 B（株式会社リクルート）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学 C では新しい概念を学ぶことになります。難易度もはるかに高くなります。授業や課題に積極的に取り組むのは当然として、家庭での復習がより一層大切になります。定期考査前にまとめて学習するだけで十分に理解するのは極めて困難です。常日頃から復習し、たくさん問題を解く習慣をつけることをお勧めします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
ベクトルについて，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
【思考力、判断力、表現力等】
ベクトルと実生活の関わりについて認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学を通して筋道を立てて物事を考える力を身につけ，それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と実生活の関わりについて認識を持ち，事象を数学的に解釈する技能を身に付ける。	向きと大きさに着目し，事象を数学的に表現し考察する力をつけるとともに，数学と実生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に表現・処理したりする能力を身に付ける。	数学を通して筋道を立てて物事を考える力を身につけ、数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	平面上のベクトル	ベクトルとその演算 ベクトルと平面図形	a:ベクトルの定義，表記について理解している。 b: 平面ベクトルの基本的表記法を通じて，表現・処理する仕方などの技能を身につけている。 c: ベクトルと平面図形の関係に興味をもち，既知の図形についてベクトルを用いて考察しようとする意欲がある。	課題評価 定期テスト	課題評価 定期テスト	自らの理解度の把握するための確認テスト
3学期	空間のベクトル	空間のベクトルとその演算 ベクトルの図形への応用 座標空間における図形	a:空間ベクトルの定義，表記について理解している。 b: 空間ベクトルの基本的表記法を通じて、表現・処理する仕方などの技能を身につけている。 c: ベクトルと座標空間における図形の関係に興味をもち，既知の図形についてベクトルを用いて考察しようとする意欲がある。	課題評価 定期テスト	課題評価 定期テスト	自らの理解度の把握するための確認テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度